

事務事業名称	公共下水道(汚水)改良事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	汚水整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名	1-3.水施策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称	防災・安全交付金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	下水道施設を利用している市民			
	サブターゲット	下水道施設を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	下水道施設の円滑な利用受益の阻害。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	道路陥没の未然防止や雨天時などにおける汚水管への侵入水防止、管路の耐震化に向け、枚方市下水道整備基本計画に基づき、管路の点検・調査を実施し、汚水管渠の老朽化、耐震化対策として改築等を進める。また、都市計画事業等による支障移転についても実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		改築計画を作成した管路の改築が完了する。				点検・調査結果を基に改築等が必要な管路を把握し、改築計画を作成する。				ストックマネジメント計画に基づく改築等を進める管路施設を把握するため、点検・調査を実施する。			
指標設定	指標説明	改築計画距離に対する改築距離の割合 【算出式:改築距離 ÷ 改築計画距離 × 100】				改築計画作成対象距離				調査実施管路距離			
		単位		%	単位		km	単位		km			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	0	0	0	0	0	0	0	17	4.1	4.3	8.6	1.2
達成度									107%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	6.03
再任用	0.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.45
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	27,966	48,958	49,372		
	会計年度任用職員	646	1,755	1,407		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	28,612	50,713	50,779		
	物件費計	166,515	249,116	345,647	579,420	59.7%
	歳出計	195,127	299,829	396,426		
歳入	国庫支出金	19,800	32,300	27,250	27,250	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	7,106	0	0	
	市債	68,000	111,600	152,500	411,300	
	その他	11,447	24,619	39,632	65,230	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	99,247	175,625	219,382	503,780	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	67,268	73,491	126,265	75,640	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市下水道ビジョンに基づき、老朽化対策について、管路の点検・調査を実施し、令和2年度から令和4年度までに調査を実施した管路について、緊急度判定を行った。さらに、令和2年度、令和3年度に実施設計を行った管路について、改築工事を行った。また、都市計画道路整備に伴う支障移転を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も枚方市下水道ビジョンに基づき管路の点検・調査を実施し、汚水管渠の老朽化、耐震化対策として改築等を進める。

事務事業名称	公共下水道(汚水)整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	汚水整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名	26-2.上水道及び生活排水の適正処理の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1958(S33)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	下水道法 都市計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道が整備できていない地域の市民・事業者			
	サブターゲット	公共下水道が整備できていない地域の汚水排水が流れ込む淀川水系に生活する住民・事業者			
	ターゲットが抱える課題	公共下水道が整備されないことにより、都市基盤が整備されていない、あるいは淀川水系の水質汚濁が生じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共下水道の整備により汚水と雨水が別々に処理されることで、都市基盤整備及び淀川水系の水質汚濁防止が出来ている状態。				
事業概要	生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、下水道の普及を促進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		下水道の普及が促進される。				公共下水道が整備される。				計画に則り、工事・委託発注を行う。			
指標設定	指標説明	公共下水道普及率				発注した工事・委託の完成率				工事・委託の発注率			
		単位		%		単位		%		単位		%	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		97.1	97.5	97.6	97.6	100	100	100	100	100	100	100	100
	97.4	97.5	97.6		83	80	100		100	100	100		
達成度	100%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	4.77
再任用	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.35
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	73,407	40,450	39,025		
	会計年度任用職員	2,585	1,436	1,105		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	75,992	41,886	40,130		
	物件費計	362,714	285,594	269,543	540,229	49.9%
	歳出計	438,706	327,480	309,673		
歳入	国庫支出金	37,825	30,000	29,500	29,500	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	15,341	0	4,691	2,191	
	市債	274,100	220,100	222,200	304,300	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	327,266	250,100	256,391	335,991	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	35,448	35,494	13,152	204,238	

5. 総括的分析

総括的分析	生活環境の改善や河川水質保全のため、公共下水道の整備完了に向けて、下水道(汚水)整備を推進。(整備人口普及率97.6%)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	整備済み区域内に点在する未承諾地域や整備困難地区などの未整備地区の解消に取り組みます。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 892

事務事業名称	汚水整備課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	汚水整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管事務が適切かつ効率的に執行されている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,660	9,036	9,374		
	会計年度任用職員	1,216	1,169	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,876	10,205	9,374		
物件費計	1,117	1,724	1,235	1,976	62.5%	
歳出計	11,993	11,929	10,609			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,117	1,724	1,235	1,976		

5. 総括的分析

総括的分析	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務の執行や公用車の維持管理を適切に行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、円滑な事務執行に努めていく。